

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 26年12月 第53号

出会った人たちから学ぶ

古田 真理華

今年もあと残すところ一ヶ月となりました。
今年一年を振り返ってみると、いろいろな人に支えられてきた一年だったと思います。

仕事やプライベートを通して、いろいろな方との出会いがありました。出会った人たちと語り合う中で、一緒に時間を過ごす中で、一緒に仕事をする中で、学ぶことがいっぱいありました。人が違う・立場が違う・性別が違う・年齢が違う事で、考え方や物事の捉え方が違って、とても学ぶことが多かったのです。

仕事では相談支援の業務に対する保護者の方々であり、連携をとらせて頂いている各事業所の職員。各関係機関の職員。また利用者を介して知り合った地域の方々。その他にも様々なところで知り合う事ができた人たち。仕事をしていたからこそ出会った人たちです。

プライベートでは家族や子どもたちから、また、友人や友人を介して新しく知り合う事ができた人たち。いろいろな方たちの考え方や、仕事への姿勢、生き方、時間の過ごし方を垣間見る事で、私の物事の捉え方や考え方、仕事への姿勢、生き方、時間の過ごし方に変化がありました。

共感できる相手であること・尊敬できる相手である事には共通点があります。それは、自分を好きでいる人。自分を肯定している人。今の自分のままでいいと実感できている人(自信を持っている人)。そして常に前向き。真っすぐ前を向き頑張っている人たち。そんな人たちの「そんな視点で物事を捉えているのか？ そんな感じ方もあるのか？ 人・地域・社会はこんな人たちで回っているのか…」と刺激をもらったのです。

そして自分の姿に照らし合わせる事で「私もこんな生き方をしてみたい」と思ったのです。こう思える事が自分を変えていくきっかけとなったのです。

この人たちとの出会いが「自分を成長させてくれるもの(人)」として実感できた一年でありました。来年も学びの年であるようにしたいと思います。

きっずサポートはぐくみ

秋まんさい!

大島 由美子

12月、師走です。早いもので今年(2014年)も残り一ヶ月となりました。毎年もれなく月日の流れる早さにハッと改めて気付かされるこの時期、年の暮です。春夏秋冬・・・季節の移り変わりもあっという間でした。春になったら外に散策に出掛けて～、夏になったら水遊びや絵具遊び等で楽しんで～、それぞれの季節ならではの遊びを思いっきり楽しみました。もちろん秋も・・・

おでかけ

ハロウィン



長良公園に行ったよ

秋探し・秋を感じよう

「魔女の館」
あいさつかなまえを伝えることが
できたら・・・おかしと交換

「目玉リレー」かぼちゃにタッチ!!&おちないで～

さつまいもを使ったおやつ作りに向けて

さつまいもみつけた

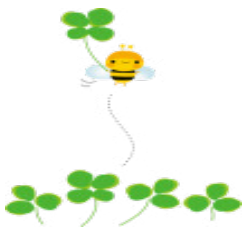
おかいものごっこ



みんなでうんとこ～しょ!!

スーパーに材料を買いに出かけたよ。帰り道でどんぐりみつけた (●o●)

今、季節は冬へと移行中。困ったなあ。冬も遊びたい事がいっぱいです。一つ一つの遊びの中に一人一人に合わせた目的をこっそり含ませて、子ども達と一緒に、今年も冬の行事・遊びを楽しみたいと思います。



サポートセンターつぼみ



ワクワクくらふと教室

松本 馨

NPO法人Meets vision代表の松岡慎也先生をお招きし、当初ロボット教室としてスタートしたこの活動ですが、「物をつくる」経験とスキルアップを目指しながら、より身近な材料を使い、作りたいときにご家庭でも作れるようにと9月よりワクワクくらふと・ロボット教室へととなりました。

月3回おこなっていますが、1回目に基本となる工作を制作、2回目にレベルアップし工程が複雑なもの、3回目は作り方を思いだし経験を活かしながら、自らの力だけで制作してみようという流れとなっています。

9月の割り箸鉄砲制作で頑張ったのは、割り箸を半分に切り分ける(空間認知)と輪ゴムでの組み立て(指先の動かし方、左右の手の連動性)です。特に輪ゴムでまとめる工程は緩いと形が崩れてしましますが、引き金部分は動くように取って緩くします。この力加減に苦戦しました…。

10月の風車は細かい作業のオンパレード！一番の難所は、軸になる針金に羽部分の折り紙をつけるのはミリ単位の作業でした。(あらかじめ折り紙には小さい穴が開いており、縫い針に糸を通すようなイメージです)

また、カレンダー制作でも取り組んでいる定規での線引きを活かし羽の設計図を書いて切り出してみるなど他の活動とも繋げています。

クラフト教室で大切にしている事は「実際に使って遊んでみよう」そして「どうしても使いやすくなるか改善してみよう」。完成させるだけでも達成感がありますが実際に試してみることで分かることもあります。

○鉄砲の輪ゴムの装填(そうてん)が上手くいかない

↓ なぜか？

○銃身の先にゴムが引っかからず動いてしまう

↓ 動かないようにするには？

○溝をつけたらどうだろう ●分からないから先生に聞いてみよう！

↓

↓

○楽につけられたよ！！ ●ストッパーの作り方教えてもらった！

…と自ら気づき、発見、疑問を持ち分からない事があれば質問してみるというところです。



苦労して作った分、完成した時の喜びの笑顔はこちらまで嬉しくなります。そしてもっと嬉しくなってしまう出来事がありました。

風車制作活動の時、細かい作業が苦手なはずなのに4個、5個…と頑張っています。

「沢山作ってどうするの？」

「いっぱい作って学校の〇〇先生と、〇〇さん、〇〇くと…にあげるの」と教室の友達全員に持っていく予定だったようです。

すると「〇〇さん一人だと大変だから手伝うよ」と声があがりました。

来月は何をつくるのかな？今から楽しみだね！！



第2光陽

パン作り 《ちぎる・のぼす・丸める》

長野 多佳子

パンの生地の入った箱をあけた瞬間 白く丸いものを見て「うわぁーおいしそう」「きれい」の声が聞こえてきました。

則武東にあるベーカリーショップFIORIさんのご協力により10月から始ったパン作り体験。指先を使う、手の平を使うことをしたいと以前から職員は思っていました、粉物は難しい……。

今回、プロのお力を借りて念願のスタートができました。パンの生地は、触るとフワフワで柔らかくて 指で押すとクニャっとする。パンの生地を自分の思った形にしようと伸ばしても……思うようにはいきません。プロが作るパン生地は、弾力があって伸ばしても伸ばしてもクルっと元の形に戻ってしまいます。エイッ、ヤー！どの子もパン生地と格闘です。

力いっぱい伸ばすと生地が破れる。均等に伸ばさないと端っこは伸びていないまま……でも生地の柔らかさとほのかに香るおいしそうな匂いに食べたい！っという気持ちで最後まで形を作ります。

急がないと具を入れないとまた生地が元の形に戻ってしまいます。根気と時間との相反する闘い(笑)てんやわんやの状況が目に見えませんか？もう大変なんですよ。今日の具は、チョコレート、コーン・チーズ・ツナ・さつま芋……どれも美味しそうで迷ってしまいます。生地の上へ具をいっぱい乗せると、横からはみ出してしまふ。美味しそうな具を減らすのではなく、必死に押し込む。でもまた反対から出てきてしまふ。その過程を繰り返し、出来上がった形は色々でしたが、とっても美味しそうなオリジナルパン。どの子もが満足した表情をしていました。

FIORIさんで焼いていただき、焼きあがったパンが届く。ふたを開けた瞬間、ふわ～と漂う美味しそうな匂い。「いい匂いがする」「食べたい！」と思うみんなの気持ちが伝わってきます。どの子も自分の作ったパンがどうなっているのかと気になり、自分の名前の書いたシートを探し、見つけると、『うわぁ～！』という感動と喜びの表情です。

「お母さんと食べる」
「今食べたいけど家で食べる」
と口々に話してくれます。

物を作る楽しさ、難しさ、そしてあきらめずにやり遂げた達成感を、これからももっともって感じたいです。



第2サポートセンターつぼみ



お楽しみ会 ハロウィンを楽しもう！！

中村 麻理子

山々が紅葉に彩り、とても綺麗な季節です。寒暖の差がありますので、皆様お体には気を付けて下さい。

10月31日第2サポートセンターつぼみではお楽しみ会としてハロウィンパーティーを行いました。ハロウィンは国々によって少し解釈が異なりますが、秋の収穫祭や悪霊祓い、諸聖人の日の前夜祭と呼ばれています。

第2つぼみでは自由時間などを利用し子供達とフロアを飾り付けました。カボチャやお化けなどの絵の色塗りを行い、それをはさみで形に合わせて切り画用紙に貼り合わせました。作っている時にも「先生、今年はお化け来るかな？」と待ち遠しい様子でした。

色塗りやはさみ・のりの使い方は日頃から3分間集中や基本療育の中で取り組んでいます。

ハロウィンパーティー当日は2人1組になり「失礼します」とお辞儀をして部屋に入り、ゲームに挑戦しました。1つ目の部屋では小学生はサイコロで、中高生はくじ引きで出た課題に取り組みます。課題の内容は

小学部:蝶結び・お弁当包み・輪ゴム掛け・貯金箱入れ

中高部:蝶結び・袋詰め・シャツのボタン掛け

となっています。制限時間を2分間とし、療育で取り組んでいる成果を存分に発揮してもらいました。クリアできたらお菓子を貰えると聞くと目をキラキラとさせ皆真剣に頑張っていました。



2つ目の部屋では文字のカードを並び替えて、「こんにちは」、「ありがとう」、「トリックオアトリート」の言葉を作りました。この部屋は他の部屋より薄暗く、何か出てきそうな雰囲気です。並び替えをクリアしてドアを開けると・・・お化けのお面を被った職員がお菓子を持って待っており、ビクビクしながら勇気を出して貰いに行く子、びっくりして逃げ出す子、お化けなんてへっちゃらで嬉しそうにお菓子を貰う子など反応は様々でした。終わったあとは、

「去年より怖かったね。」、「あー、びっくりした〜。」、「でも、楽しかったね。」など嬉しそうに感想を話し合っていました。

友達と一緒に頑張り、課題をクリアし、楽しいけど緊張し、ちょっぴり怖い、泣き笑いありのハロウィンになりました。

